



[まほろばの会](#)

坂本龍馬没後150年。その死は未だに謎を残していますが、静岡市美術館ではこの夏2ヶ月に亘って龍馬展が開催され、多くの来場者で賑わいました。

その死に深く関わったとされる京都見廻組の今井信郎。幕臣として生きた彼は禁固刑を下され、静岡藩預かりの身となり、鷹匠町に居住します。

明治11年に坂本村(現在の島田市初倉)の地に入植し、亡くなるまでの40年間、地域の農業・教育・文化・政治など様々な分野で大きな力を尽くし、敬われ慕われ、この地に多くの功績を残しました。そんな郷土の誇れる人物を、今どれ程の人が知っているでしょうか。



[まほろばの会](#)

会長の塚本昭一さん



[まほろばの会](#)

運営委員長の太塚靖郎さん

昨秋、今井の生涯とその生きざまを伝えて行かなければ、と思いを強くする地域の人たちが集まり、NPO法人初倉まほろばの会が結成されました。地域遺産の啓発とまちづくり人づくりを見据え、この11月には100回忌法要を行おうと奔走されています。



まほろばの会

(左) 今井屋敷跡地から入路方向風景。かつては両側の山が今よりも迫り、溪合いというに相応しい場所だった。現在は写真右手の細い舗装路から入る。かつて信郎は左手にある山に沿った小道を使い中条屋敷や町に出ていたと云われる。(右) 住民の篤志により建てられた顕彰碑



まほろばの会

今井は牧之原開拓の頭取であった中条景昭の配慮で、彼の屋敷を下った先の鬱蒼とした澤奥に居を構えました。口伝によれば近江屋事件に関わった為、刺客に対応できる様考えられた場所であり、造りだったようです。

その屋敷跡も時代と共に荒れ果て、竹や草の生い茂るだけの場所となっていましたが、2003年には有志の方々の奉仕で、900坪ある屋敷跡のはびこった竹の伐採や草刈りなどが行われ、地元住民らにより立派な石碑が建てられ、河津桜やツツジ、木瓜(ボケ)等の植栽もされています。

また今井の三男の妻でありアララギ派の歌人である今井邦子が、大正5年に両親を訪ねた折に詠んだ

やうやくに 歩み近づき 来つる家
ひっそりとして 木瓜の花赤し

の歌碑も建てられています。



まほろばの会



まほろばの会

(左) 石積みを上った所が屋敷跡 津田塾の津田仙氏と親交が深く、農業・植物に先進的な人物であったと伝えられる。敷地にはバナナの大樹があり、昭和20年代には毎年それが結実していた記憶が近隣の人たちにある。(右) 現在来訪者の為に大塚さんらの手で作られているベンチ



[まほろばの会](#)

屋敷跡裏側の竹林と水路の間には猪の足跡も見られた。

しかしこれまでの管理体制では、跡地は夏ともなると一面雑草に覆われ、来客も近寄れない状況でした。県内外からここを訪れる方が増えるにつけ、今井信郎の足跡を知って頂く場所として屋敷の復元など敷地全体を整備し、地域の活性化や振興にも繋げる活動にしたいとNPO法人の立ち上げに至ったそうです。それでも現実には資金面においてもまだまだ道半ば。まずは100回忌を迎えるこの機に、観光的にも有名な蓬莱橋からつながる周辺の散策路を整備し、史跡ハイクや歴史演談の記念イベントなど、広く皆さんに知って頂く事から始めようと計画しています。



[まほろばの会](#)



[まほろばの会](#)

記念行事は27年11月11日 下記のように行われる予定です。

* 今井邦子歌碑(3基)除幕式 10時～、邦子の歌朗詠

* 史跡ハイク(島田市主催)10時～

(以上 於:今井屋敷跡)

* 今井信郎の100回忌法要

とき 平成27年11月11日(土)13時30分～

ところ 曹洞宗・地福山「種月院」島田市阪本 ☎0547-38-0107

アトラクション 歴史演談「龍馬を斬った男」の上演(語りて 奥野晃士)

その他 受付にて法要署名をお願い致します。

主催者 NPO法人 初倉まほろばの会

問い合わせ先 090-9936-3397(塚本)

会長の塚本さんは地域の歴史を書きまとめ、今井信郎についても、第9編「白雲の魁」として自費出版し、収益をNPOの運用にあてているそうですが、まほろばの会の広報誌やこれらを読ませて頂くと、今井信郎という人物や知り得なかった歴史の一端が見えてくる面白さに興味が募り、更に知りたいという思いが湧き上がってきます。

志太榛北地区担当特派員 増田昌江